

推薦書作成の手引き（経済学部用）

推薦は文系型、理系型それぞれ2名まで認めます。

報告事項及び推薦事由、人格・見識に関する所見は、パソコン等で作成し、別紙で添付しても構いません。ただし、その場合には、【A】【B】【C】各欄の枠内に収まる程度の文字数としてください。

【A】志願者の学業活動における報告事項及び推薦事由

- ① 高等学校での学修における行動や成果（科目の取り組み状況や課題研究、課外活動、学校行事での活動等）、特筆すべき能力やリーダーシップ等について、推薦要件に合致していることを含め記載してください。志願者の顕著な活動実績についても触れてください。
- ② 授業中の活動状況、勉学の自発性、計画性、理解力、創造的思考力等について、できるだけ具体的事実をあげて記入してください。
- ③ 志願者を推薦する根拠となった学業上の特別の事由があれば記入してください。
- ④ 大学院進学への興味について、学部レベルを超える学術問題に取り組む意思があるかという観点から記載してください。

【B】人格・見識に関する所見

- ① 「まじめである」「よく活動する」というような概評ではなく、具体的事実を挙げて記入してください。
- ② 人物や性格等について志願者の特性をよく表している事実を記入してください。
- ③ 見識については、以下の文を参考にしてできるだけ具体的に記入してください。
「社会の問題に対する知識を持ち、確固たる自分の意見を持っている」
「学術に広範な関心があり、それらの本質をとらえる力を備えている」
「国際的な問題を身近な事例から検討する力を持っている」
「幅広い手法を用いて多面的に物事を分析する力を持っている」
- ④ 志願者について特記すべき事項があれば記入してください。

【C】全体の学習成績の状況に基づいた志願者の学年における順位

全体の学習成績の状況に基づいて、志願者の出願時の直近の学年（学科・コース別）における順位を必ず記入してください。

※新型コロナウイルス感染症の影響による高等学校等における臨時休業により、調査書の第3学年の順位を記載できない場合は、その理由を付した上で、第2学年までの学習成績の状況に基づいて、志願者の学年における順位を記入してください。